

平成 23 年 2 月 17 日
気象庁地震火山部

配信資料に関する技術情報（地震火山編）第 336 号
～「東海地震観測情報」の情報名称変更等に伴う配信電文の一部変更～

「東海地震観測情報」については、一昨年 8 月の駿河湾の地震において情報発表した際に、「情報名称から、東海地震が発生（を観測）したときの情報と思った」等の指摘があったところです。こうしたことを受け、気象庁は、有識者による「東海地震に関連する情報の理解促進のための検討会」を開催し、その結果、「東海地震観測情報」を「東海地震に関連する調査情報」と名称変更するのが適切である等と提言されました。提言の概要については気象庁報道発表資料（<http://www.jma.go.jp/jma/press/1101/26a/tokai0126.html>）をご覧ください。

気象庁では、これら提言を受け、情報名称の変更等を 3 月 24 日 13 時に実施し、気象庁からの配信電文について以下のとおり変更しますのでお知らせします。

1. 現行のかな漢字・コード電文（別紙 1）

（1）東海地震に関連する調査情報（臨時）

「東海地震観測情報」を引き継ぎ、トウカイカンソク 1 電文で配信します。

（2）東海地震に関連する調査情報（定時）

ゼンコクサイスモ 1 電文で配信します。

2. 気象庁防災情報 XML フォーマット電文（別紙 2 及び 3）

（1）東海地震に関連する調査情報（臨時）

「東海地震観測情報」を引き継ぎ、VYSE42 電文で配信します。

（2）東海地震に関連する調査情報（定時）

平成 23 年 9 月 30 日まで・・・VXSE56 電文で配信します。

それ以降・・・VYSE42 電文で配信します。

別紙 1：「東海地震観測情報」の情報名称変更等に伴うかな漢字・コード電文の対応

別紙 2：「東海地震観測情報」の情報名称変更等に伴う気象庁 XML 電文の対応

別紙 3：「東海地震観測情報」の情報名称変更等に伴う気象庁 XML 電文の対応（暫定措置）

「東海地震観測情報」の情報名称変更等に伴う
かな漢字・コード電文の対応

平成23年1月26日に開催した「東海地震に関連する情報の理解促進のための検討会(第2回)」における提言を踏まえ、「東海地震観測情報」を「東海地震に関連する調査情報」に名称変更等を行うことになりました(同日気象庁報道発表(<http://www.jma.go.jp/jma/press/1101/26a/tokai0126.html>)参照)。

これに伴うかな漢字・コード電文の対応については以下のとおりとします。

1. 対応の適用日時

平成23年3月24日13時

2. 対応の内容

(1) データ種類コード

臨時発表する場合：トウカイカンソク1

定例発表する場合：ゼンコクサイスマ1

(2) コード部分

ア. 臨時発表する場合

従前の「東海地震観測情報」での設定と同じ。

イ. 定例発表する場合

既存の「地震情報(その他の情報)」のコードを用い、「地震情報(地震の活動状況等に関する情報)」として発信する。「東海地震に関連する調査情報(定例)」のコード設定は以下のとおりとする。

aa bb nn y ₁ y ₁ m ₁ m ₁ d ₁ d ₁ h ₁ h ₁ m ₁ s ₁ s ₁ Cnf y ₂ y ₂ m ₂ m ₂ d ₂ d ₂ h ₂ h ₂ m ₂ s ₂ s ₂ kkk Afn ₁ n ₂ n ₃ n ₄ n ₅ 9999

aa 電文種別コード。「地震情報(その他の情報)」であることを示す「87」を割り当てる。

bb 発信官署コード。「東海地震に関連する調査情報(定例)」では、東京「03」又は大阪「04」が入る。

nn 電文の種類。通常「00」、訓練「01」、通常ของการ取消「10」、訓練の取消「11」、配信試験「20」、コード部の共通の基本部のみ形式による配信試験「30」のいずれかが入る。

y₁y₁m₁m₁d₁d₁h₁h₁m₁m₁s₁s₁ 電文の発信時刻。

Cnf 電文通数。

「C」は固定文字で、識別符号である。

「n」には、当該電文含め電文があと何通あるかを示す。1～9の数字の後にA～Zの英字を使用する。したがって、Zの場合、残りの電文は当該電文を含め35通であることを意味する。

「f」は、「東海地震に関連する調査情報（定例）」では常に1で固定となる。

y₂y₂m₂m₂d₂d₂h₂h₂m₂m₂s₂s₂ 「東海地震に関連する調査情報（定例）」では常に「//////////」で固定となる。

kkk 「東海地震に関連する調査情報（定例）」では常に「///」で固定となる。

Afn₁n₂n₃n₄n₅ 「東海地震に関連する調査情報（定例）」では常に「A100000」で固定となる。

(3) かな漢字部分

ア. 情報文タイトル

臨時発表する場合：「東海地震観測情報」のまま変更無し。

定例発表する場合：「東海地震に関連する調査情報」とする。

イ. 見出し文

(ア) 以下のとおり、臨時、定例の別を示す文章を見出し文に追記する。

臨時発表する場合：

これは、東海地震に関連する調査情報（臨時）です。

平成23年3月24日から従来の東海地震観測情報を「東海地震に関連する調査情報」に変更しています。

定例発表の場合：

これは、東海地震に関連する調査情報（定例）です。

注) 定例発表であることの周知を徹底するため、当面の間、以下の文言も追記するものとする。

この情報は、毎月の定例の判定会で評価した調査結果を発表するものです。

平成23年3月24日から従来の東海地震観測情報を「東海地震に関連する調査情報」に変更しています。

(イ) カラーレベルを追記する。（「東海地震に関連する調査情報」では、カラーレベルは常に青となる。）

ウ. 本文以降

(ア) 従前通り、本文と参考文の間に当該情報の情報番号を挿入する。定例発表の場合は、常に1号とする。挿入例：(東海地震に関連する調査情報 第〇号)

(イ) 従前通り、参考文末に「東海地震に関連する情報」としての全体通しの情報通番を付加する。定例発表の場合は、常に1号とする。挿入例：(東海地震に関連する情報 第〇号)

(ウ) 参考文を新情報対応に修正する。
従前の「東海地震観測情報」の説明文を以下のとおり、新情報対応の説明文に修正する。

例)

【東海地震に関連する調査情報（臨時）】

観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を発表。

(防災対応)

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常どおりの生活。

【東海地震に関連する調査情報（定例）】

毎月の定例の判定会で評価した調査結果を発表。

(防災対応)

特になし。

注) 以上 (ア) ~ (ウ) は、東海地震予知情報及び東海地震注意情報の場合も同様。

3. その他

「東海地震に関連する調査情報（定例）」の電文は、毎月開催される定例の地震防災対策強化地域判定会が終わり次第、原則としてその日のうちに発信する。

次頁に電文例を示す。

コード電文例

【臨時発表の例：トウカイカンソク 1 電文】

トウカイカンソク 1 キソウ

19 03 00 111021131430 C11 1110211314 001 001 9999

平成 23 年 1 0 月 2 1 日
1 3 時 1 4 分
気象庁地震火山部

東海地震観測情報

*** 見出し ***

これは、東海地震に関連する調査情報（臨時）です。
平成 23 年 3 月 24 日から従来の東海地震観測情報を「東海地震に
関連する調査情報」に変更しています。
東海地震との関連性を調査中です。

カラーレベルは青です。

*** 本文 ***

□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□
□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□
□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□
□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□
□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□
□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□
□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□
□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□

（補足：平成 23 年 3 月 24 日から従来の東海地震観測情報を東海地
震に関連する調査情報に変更しています。東海地域の観測データに
通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての
調査の状況を、東海地震に関連する調査情報（臨時）で発表します。
また、毎月開催する定例の地震防災対策強化地域判定会で評価した
調査結果を、東海地震に関連する調査情報（定例）で発表します）

（東海地震に関連する調査情報 第 1 号）

*** (参考)東海地震に関連する情報の種類とその防災対応等***

【東海地震予知情報】

△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△
△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△

【東海地震注意情報】

△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△
△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△

【東海地震に関連する調査情報（臨時）】

観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の
原因についての調査の状況を発表。

（防災対応）

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常どおりの生活。

【東海地震に関連する調査情報（定例）】

毎月の定例の判定会で評価した調査結果を発表。

（防災対応）

特になし。

（東海地震に関連する情報 第 1 号）

=

【定例発表の例：ゼンコクサイスマ 1 電文】

ゼンコクサイスマ 1 キソウ

87 03 00 111021131430 C11 ////////////// // A100000 9999

地震情報（地震の活動状況等に関する情報）
平成 23 年 1 0 月 2 1 日 1 3 時 1 4 分 気象庁発表

東海地震に関連する調査情報

*** 見出し ***

これは、東海地震に関連する調査情報（定例）です。
この情報は、毎月の定例の判定会で評価した調査結果を発表するも
ののです。平成 23 年 3 月 24 日から従来の東海地震観測情報を「東海
地震に関連する調査情報」に変更しています。
現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測され
ていません。

【概況】

最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動には、現在のところ、
東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

カラーレベルは青です。

*** 本文 ***

□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□
1. 地震活動の状況
□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□
2. 地殻変動の状況
□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□

（補足：平成 23 年 3 月 24 日から従来の東海地震観測情報を東海地
震に関連する調査情報に変更しています。東海地域の観測データに
通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての
調査の状況を、東海地震に関連する調査情報（臨時）で発表します。
また、毎月開催する定例の地震防災対策強化地域判定会で評価した
調査結果を、東海地震に関連する調査情報（定例）で発表します）

（東海地震に関連する調査情報 第 1 号）

*** (参考)東海地震に関連する情報の種類とその防災対応等***

【東海地震予知情報】

△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△
△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△

【東海地震注意情報】

△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△
△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△△△△△、△△△△△

【東海地震に関連する調査情報（臨時）】

観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の
原因についての調査の状況を発表。

（防災対応）

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常どおりの生活。

【東海地震に関連する調査情報（定例）】

毎月の定例の判定会で評価した調査結果を発表。

（防災対応）

特になし。

（東海地震に関連する情報 第 1 号）

=

(別紙2)

「東海地震観測情報」の情報名称変更等に伴う 気象庁 XML 電文の対応

平成23年1月26日に開催した「東海地震に関連する情報の理解促進のための検討会(第2回)」における提言を踏まえ、「東海地震観測情報」を「東海地震に関連する調査情報」に名称変更等を行うことになりました(同日気象庁報道発表(<http://www.jma.go.jp/jma/press/1101/26a/tokai0126.html>)参照)。

これに伴う気象庁防災情報 XML フォーマット電文の対応については以下のとおりとします。

1. 対応の適用日時

平成23年3月24日13時

ただし、「定例発表」については、別資料のとおり、一定期間の暫定措置をとるものとする。

2. 対応の内容

(1) 情報名称変更対応

ア. ヘッダ部のタイトル (Head/Title) に入る文字列

「東海地震観測情報」→「東海地震に関連する調査情報」に変更

イ. 内容部の情報名称 (Body/Tokai/InfoKind) に入る文字列

「東海地震観測情報」→「東海地震に関連する調査情報」に変更

注) 管理部の情報名称 (Control/Title) に入る文字列について

管理部の情報名称については、XML 電文の配信設定等に関連するため、今回のタイミングでは変更しない。別途、十分な周知期間を取ってから変更することとするので、改めて連絡する。

(2) 情報発表形態の変更に伴う対応

以下のとおり TokaiInformation コード表を更新し、各形態に対応させる。

対応	Code	Name	
		変更前	変更後
Name 変更	000	デフォルト	臨時
Code 削除	010	調査中	(削除)
Code 新設	020	—	定例
Name 変更	900	解除	終了

- ア. 「東海地震に関連する調査情報（定例）」を発表する場合
/Body/Tokai/InfoSerial/Name の値は “定例”、
/Body/Tokai/InfoSerial/Code の値は “020”
- イ. 「東海地震予知情報」、「東海地震注意情報」又は「東海地震に関連する調査情報（臨時）」を発表する場合（終了の発表を除く）
/Body/Tokai/InfoSerial/Name の値は “臨時”、
/Body/Tokai/InfoSerial/Code の値は “000”
- ウ. 「東海地震予知情報」、「東海地震注意情報」又は「東海地震に関連する調査情報（臨時）」の終了の発表をする場合
/Body/Tokai/InfoSerial/Name の値は “終了”、
/Body/Tokai/InfoSerial/Code の値は “900”

(3) 見出し文

- ア. ヘッダ部の見出し文 (/Head/Headline/Text) において、以下のとおり、臨時・定例発表である旨を示す。

臨時発表の場合：

これは、東海地震に関連する調査情報（臨時）です。

注) コード電文と内容を一致させるため、コード電文が存続する間は、以下の文言も追記するものとする。

平成 23 年 3 月 24 日から従来の東海地震観測情報を「東海地震に関連する調査情報」に変更しています。

定例発表の場合：

これは、東海地震に関連する調査情報（定例）です。

注）定例発表であることの周知を徹底するため、当面の間、以下の文言も追記するものとする。

この情報は、毎月の定例の判定会で評価した調査結果を発表するものです。

平成 23 年 3 月 24 日から従来の東海地震観測情報を「東海地震に関連する調査情報」に変更しています。

イ．カラーレベルを追記する。（「東海地震に関連する調査情報」では、カラーレベルは常に青となる。）

（４）本文

内容部の本文（Body/Text）において、以下のとおり対応する。

ア．従前通り、本文と参考文の間に当該情報の情報番号を挿入する。定例発表の場合は、常に 1 号とする。挿入例：（東海地震に関連する調査情報 第〇号）

イ．コード電文並行運用期間においては、コード電文と内容を一致させるため、参考文末に「東海地震に関連する情報」としての全体通しの情報通番を付加する。定例発表の場合は、常に 1 号とする。挿入例：（東海地震に関連する情報 第〇号）

注）イ．に示す通番の付加は、コード電文並行運用期間の暫定措置であるため、XML 電文においては、タグ等を用意しない。本文中のみの書込みとするので留意されたい。

ウ．参考文を新情報対応に修正する。

従前の「東海地震観測情報」の説明文を以下のとおり、新情報対応の説明文に修正する。

例)

【東海地震に関連する調査情報（臨時）】

観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を発表。

（防災対応）

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常どおりの生活。

【東海地震に関連する調査情報（定例）】

毎月の定例の判定会で評価した調査結果を発表。

（防災対応）

特になし。

注）以上ア．～ウ．は、東海地震予知情報及び東海地震注意情報の場合も同様。

3. その他

「東海地震に関連する調査情報（定例）」の電文は、毎月開催される定例の地震防災対策強化地域判定会が終わり次第、原則としてその日のうちに発信する。

本件変更に伴う気象庁防災情報 XML フォーマット各種技術資料の更新は、平成 23 年 2 月下旬に実施し、気象庁 XML 情報提供ウェブサイト (<http://xml.kishou.go.jp/>) に掲載する予定である。

以下に XML 電文例を示す（赤字が変更点等）。

XML 電文例

【臨時発表の例】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<Reportxmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"xmlns:jmx="
"http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
<Control>
<Title>東海地震観測情報</Title>
<DateTime>2011-10-21T04:14:30Z</DateTime>
<Status>通常</Status>
<EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
<PublishingOffice>気象庁</PublishingOffice>
</Control>
<Headxmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis
1/">
<Title>東海地震に関連する調査情報</Title>
<ReportDateTime>2011-10-21T13:14:00+09:00</ReportDateTime>
<TargetDateTime>2011-10-21T13:14:00+09:00</TargetDateTime>
<EventID></EventID>
<InfoType>発表</InfoType>
<Serial>1</Serial>
<InfoKind>東海地震関連情報</InfoKind>
<InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
```

```
<Headline>
<Text>これは、東海地震に関連する調査情報（臨時）です。
平成 23 年 3 月 24 日から従来の東海地震観測情報を「東海地震に関
連する調査情報」に変更しています。東海地震との関連性を調査中
です。カラーレベルは青です。
</Text>
</Headline>
</Head>
```

```
<Bodyxmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/seismology1/
">
<Tokai>
<InfoKind>東海地震に関連する調査情報</InfoKind>
<InfoSerial codeType="東海関連情報番号コード">
<Name>臨時</Name>
<Code>000</Code>
</InfoSerial>
<Text> □□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、
□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□、
□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□

(東海地震に関連する調査情報 第 1 号)

** (参考) 東海地震に関連する情報の種類とその防災対応等 **
【東海地震予知情報】
△△△△△△、△△△△△△△△、△△△△△△△△、△△△△△△△△、△△△△
【東海地震注意情報】
△△△△△△△△、△△△△△△△△△△、△△△△△△△△△△、△△△△△△△△
【東海地震に関連する調査情報（臨時）】
観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原
因についての調査の状況を発表。
(防災対応) テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常どおりの生活。
【東海地震に関連する調査情報（定例）】
毎月の定例の判定会で評価した調査結果を発表。
(防災対応) 特になし。

(東海地震に関連する情報 第 1 号)
</Text>
</Tokai>
<NextAdvisory></NextAdvisory>
</Body></Report>
```

【定例発表の例】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
<Control>
<Title>東海地震観測情報</Title>
<DateTime>2011-10-21T04:14:30Z</DateTime>
<Status>通常</Status>
<EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
<PublishingOffice>気象庁</PublishingOffice>
</Control>
<Headxmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis
1/">
<Title>東海地震に関連する調査情報</Title>
<ReportDateTime>2011-10-21T13:14:00+09:00</ReportDateTime>
<TargetDateTime>2011-10-21T13:14:00+09:00</TargetDateTime>
<EventID></EventID>
<InfoType>発表</InfoType>
<Serial>1</Serial>
<InfoKind>東海地震関連情報</InfoKind>
<InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
```

```
<Headline>
<Text>これは、東海地震に関連する調査情報（定例）です。
この情報は、毎月の定例の判定会で評価した調査結果を発表する
ものです。平成 23 年 3 月 24 日から従来の東海地震観測情報を「東
海地震に関連する調査情報」に変更しています。
現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測され
ていません。 カラーレベルは青です。
</Text>
</Headline>
</Head>
```

```
<Bodyxmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/seismology1/
">
<Tokai>
<InfoKind>東海地震に関連する調査情報</InfoKind>
<InfoSerial codeType="東海関連情報番号コード">
<Name>定例</Name>
<Code>020</Code>
</InfoSerial>
<Text>□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□
1. 地震活動の状況
□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□
2. 地殻変動の状況
□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□

(東海地震に関連する調査情報 第 1 号)

** (参考) 東海地震に関連する情報の種類とその防災対応等 **
【東海地震予知情報】
△△△△△△、△△△△△△△△、△△△△△△△△、△△△△△△△△、△△△△
【東海地震注意情報】
△△△△△△△△、△△△△△△△△△△、△△△△△△△△△△、△△△△△△△△
【東海地震に関連する調査情報（臨時）】
観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の
原因についての調査の状況を発表。
(防災対応) テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常どおりの生活。
【東海地震に関連する調査情報（定例）】
毎月の定例の判定会で評価した調査結果を発表。
(防災対応) 特になし。

(東海地震に関連する情報 第 1 号)
</Text>
</Tokai></Body></Report>
```

**「東海地震観測情報」の情報名称変更等に伴う
気象庁 XML 電文の対応（暫定措置）**

今回の情報名称変更等に伴い、気象庁 XML 電文については、「東海地震に関連する調査情報」の「定例」発表時に設定するコードを新規追加しますが、平成 23 年 3 月 24 日までにシステム対応が困難なユーザもあることが予想されるため、以下の暫定措置をとります。

暫定措置

暫定措置として、平成 23 年 9 月 30 日まで、「東海地震に関連する調査情報（定例）」は、データ種類コード VYSE42 ではなく、データ種類コード VXSE56 の「地震情報（地震の活動状況等に関する情報）」の気象庁 XML 電文で発信する。

1. 代替 XML 電文のデータ種類コード

VXSE56

（地震情報（地震の活動状況等に関する情報）で用いることとしているもの）

2. 代替 XML 電文の内容等

(1) 管理部の情報名称 (Control/Title)

「地震の活動状況等に関する情報」で固定とする。

(2) ヘッダ部の識別情報 (Head/EventID)

任意の地震識別番号を値として入れる（実際に発生した地震に関連するものではない）。

(3) ヘッダ部の情報番号 (Head/Serial)

常に空要素となる。

(4) 内容部のテキスト要素 (Body/Text)

「東海地震に関連する調査情報」の定例発表の全文（タイトル含む）を記載する。

※代替の XML 電文例については、次項参照。

代替XML電文例

「地震情報（地震の活動状況等に関する情報）」（データ種類コード：VXSE56）

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
<Control>
<Title>地震の活動状況等に関する情報</Title>
<DateTime>2011-10-21T04:14:30Z</DateTime>
<Status>通常</Status>
<EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
<PublishingOffice>気象庁</PublishingOffice>
</Control>
<Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
<Title>地震の活動状況等に関する情報</Title>
<ReportDateTime>2011-10-21T13:14:00+09:00</ReportDateTime>
<TargetDateTime>2011-10-21T13:14:00+09:00</TargetDateTime>
<EventID>20110118130515</EventID>
<InfoType>発表</InfoType>
<Serial></Serial>
<InfoKind>地震の活動状況等に関する情報</InfoKind>
<InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
```

```
<Headline>
<Text>
東海地震に関連する調査情報（定例）を發表します。
</Text>
</Headline>
</Head>
```

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/seismology1/"
xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
<Text>
東海地震に関連する調査情報
** 見出し文 **
これは、東海地震に関連する調査情報（定例）です。
この情報は、毎月の定例の判定会で評価した調査結果を發表するもので
す。平成23年3月24日から従来の東海地震観測情報を「東海地震に関連
する調査情報」に変更しています。
現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていませ
ん。
カラーレベルは青です。

** 本文 **
1. 地震活動の状況
□□□□□□、□□□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□
2. 地殻変動の状況
□□□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□
（東海地震に関連する調査情報 第1号）

**（参考）東海地震に関連する情報の種類とその防災対応等**
【東海地震予知情報】
△△△△△、△△△△△△△、△△△△△△△、△△△△△△△、△△△
【東海地震注意情報】
△△△△△△、△△△△△△△、△△△△△△△、△△△△△△△、△△△
【東海地震に関連する調査情報（臨時）】
観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因につ
いての調査の状況を發表。
（防災対応）テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常どおりの生活。
【東海地震に関連する調査情報（定例）】
毎月の定例の判定会で評価した調査結果を發表。
（防災対応） 特になし。
（東海地震に関連する情報 第1号）
</Text></Text>
</Body>
</Report>
```